

令和5年大会アピール

本日、令和5年「北方領土の日」を迎え、我が国固有の領土である択捉島、国後島、色丹島および歯舞群島、すなわち北方四島の返還実現を目指し、「令和5年北方領土返還要求全国大会」を開催しました。大会の様子は、インターネット配信を併用し、北方領土問題の解決を求める日本国民の声を国内外に幅広く訴えることができました。

北方領土が77年前、ソ連によって不法占拠されたまま今日に至っていることは、決して許されるものではありません。今、北方領土問題は、混迷する国際情勢の影響を受け、日露両国間の平和条約交渉が中断するなど先の見えない厳しい状況におかれています。

戦前北方四島に居住していた元島民の方々は「故郷の島に戻る日」を待ち続けていましたが、高齢化は加速し願いが叶わぬまま次々と亡くなられています。彼らに残された時間は決して長くはありません。現在、中断されている元島民の北方墓参の実施を強く望みます。北方領土問題の解決がこれ以上長引くことを断じて許すわけにはいきません。

こうした厳しい現状の中で開催した大会では、「北方領土の日」制定の基本である北方領土問題を解決し、日露平和条約の締結によって両国間に真の平和と友好が構築されるために、日露交渉の再開を強く求めます。

大会では、北方領土問題の解決に向け、政府と国民が一体となり、これまで以上に国内外に向け広範な役割を果たし、北方領土返還要求運動に取り組む意思の統一が確認されました。

私たちは、北方四島の返還実現を目指し、次のとおり決意を表明します。

記

- 一．私たちは、北方四島の返還実現を目指し、日露両国間の関係改善と平和条約締結に向けた交渉の再開を強く求めます。
- 一．私たちは、人道問題として北方墓参の実施を強く求めます。
- 一．私たちは、署名活動をより一層推進します。
- 一．私たちは、全国の仲間と手を携え、あらゆる機会を活かし、北方領土問題を発信し、北方四島の返還こそが我が国とロシアとの真の友好と信頼関係を築き、ひいては世界の平和に寄与するものであることを訴えます。
- 一．私たちは、北方領土に残存する日本の施設などの保存に努めます。

令和5年2月7日北方領土の日

令和5年北方領土返還要求全国大会